

# 一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月 26日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 3番 吉里 浩恵

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { ① 全項目一括質問一括答弁  
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1)	プレコンセプションケア及びフェムケアを通じた、若い世代が安心して暮らせる地域づくりについて
発 言 事 項	
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	本市では、子育て支援施策の充実に積極的に取り組まれており、子育てしやすい環境整備については一定の評価をされているところである。  一方で、全国的に少子化や晩婚化、未婚化が進む中、人口減少問題は地方自治体にとって極めて重要な課題となっている。特に、近年は20代から30代の女性人口の減少が、地域の将来に大きく関わる指標として注目されており、若い世代、とりわけ女性に「選ばれる地域」であるかどうか、地域の持続可能性を左右する時代となっている。  そのような中、高市内閣は「女性に選ばれる地方」を掲げ、女性版骨太の方針やプレコンセプションケア推進5か年計画等を通じて、女性の健康支援や妊娠前からの健康づくりの重要性を示してい

る。

プレコンセプションケアとは、将来の妊娠も含めた健康管理やライフデザインを支える考え方であり、フェムケアとは、生理やPMS、更年期、婦人科疾患など、女性特有の健康課題に寄り添う支援である。

これらは単なる医療施策ではなく、女性がこころも身体も健やかに、自分らしく人生を描き、安心して暮らしていくための土台となるものであり、結果として若い世代が地域に希望を持ち、「住み続けたい」と思える地域づくりにつながるものと考えます。

本市では、「あくしょん・ぷらん2025」、「健康たかしま21プラン（第4次）」においても、プレコンセプションケアの必要性が記載されている。一方で、市に確認したところ、現在は学校教育分野を中心とした位置づけに留まっているとのことであった。

しかしながら、プレコンセプションケアやフェムケアは、学校教育に限らず、若い世代、働く世代、子育て世代、更年期世代など、幅広い世代の女性の健康や生き方に関わる課題であり、「女性に選ばれる地方」を目指す上では、地域全体で考えていく必要があるのではないか。

私は、高島市で暮らすすべての女性が、こころも身体も健やかに、自分らしく幸せに生きていける地域であってほしいと願っている。

そのためには、子育て支援だけでなく、その前段階である若い世代への健康支援や相談体制、学びの機会などについても、地域づくりの一環として考えていく必要があると考え、以下について伺

う。

(1)

本市は、20代から30代の女性人口の減少について、地域の持続可能性という観点からどのように認識しているか。

(2)

高市内閣が掲げる「女性に選ばれる地方」について、本市としてどのように認識しているか。

(3)

本市の「あくしょん・ぷらん2025」及び「健康たかしま21プラン（第4次）」に記載されているプレコンセプションケアについて、現在の取組状況及び今後の方向性を伺う。

(4)

プレコンセプションケア及びフェムケアについて、本市としてどのように認識しているか。

(5)

若い世代に対する性や健康に関する正しい知識の普及や、相談体制、学びの機会づくりについて、今後どのように取り組んでいく考えか。

(6)

女性がこころも身体も健やかに、自分らしく安心して暮らせる地域づくりについて、今後どのように進めていく考えか。